

科目	建設法規 (Basic Laws on Civil Engineering)		
担当教員	松山 孝彦		
対象学年等	都市工学科・5年・後期・選択・1単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A4-3(90%) A4-4(10%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	建設技術者が携わる関係法規を系統的に紹介し、その内容を理解・把握できるようにする。また、授業中の小テストや中間・期末試験に国家資格の試験問題等を取り入れることによって将来の資格試験に備える。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-3】法律の概念を把握し、資格関係法や種類を説明できる。		法律の概念や用語、資格関係法の種類等を問う問題を作成し、授業中の小テストや中間試験で実施して評価する。
2	【A4-3】労働関係法の種類を把握し、その内容を理解する。		労働関係法の内容を問う問題を、授業中の小テストや中間試験で実施して評価する。
3	【A4-3】建設業法、都市計画・都市施設関係法、運輸関係法等の種類を把握し、その内容を理解する。		建設業法、都市計画・都市施設関係法、運輸関係法等の内容を問う問題を作成し、前半を中間試験で、後半を定期試験で評価する。授業中の小テストも実施して評価する。
4	【A4-4】環境保全法の種類を把握し、その内容を理解する。		環境保全に関する法律の内容を授業中の小テストおよび定期試験で評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	中間・定期試験で80%、小テストなどの学習評価20%の割合で総合評価する。		
テキスト	「建設法規の基礎」：岸本進、松山孝彦（工学出版）		
参考書	「土木法規早わかり」間風太郎（オーム社） 「土木法規の要点」：前川行正（理工図書）		
関連科目			
履修上の注意事項	法規名とそれらに関連する内容説明のあと感想や意見を述べてもらう場合がある。「土木施工」の施工法の内容に関連がある。		

